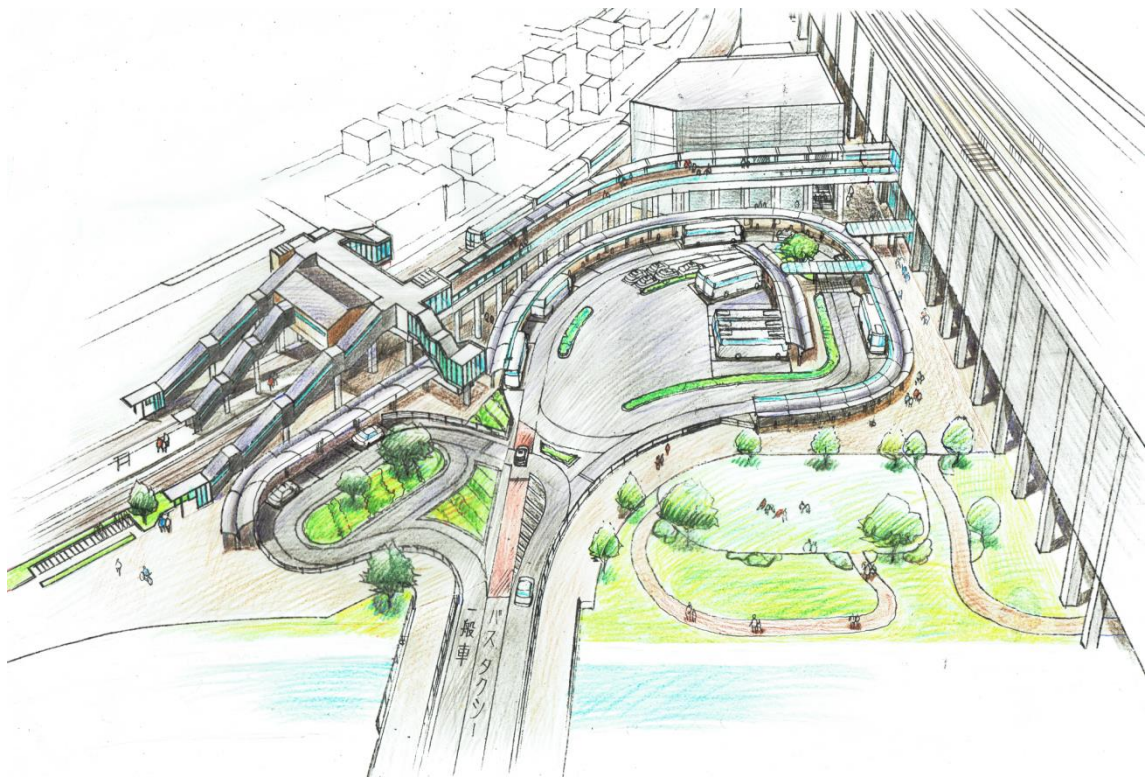




リニア岐阜県駅周辺整備概略設計



平成28年3月

岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会

基盤整備部会

目 次

1. 概略設計について
2. リニア岐阜県駅について
3. 岐阜県リニア中央新幹線活用戦略（抜粋）
4. リニア岐阜県駅周辺整備基本計画（抜粋）
5. 各施設の整備の考え方
6. 平面図
7. イメージ図
8. 概算費用
9. 今後の進め方

1. 概略設計について

平成 26 年 3 月、岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会において、岐阜県リニア中央新幹線活用戦略(以下、「活用戦略」という。)が策定され、「駅及び駅周辺整備」はその重点施策として位置付けられました。平成 27 年 3 月には、同研究会基盤整備部会において、リニア岐阜県駅周辺整備基本計画(以下、「基本計画」という。)を策定し、駅前広場をはじめとする駅周辺施設等の整備に係る全体像や必要とされる個別機能を整理しました。

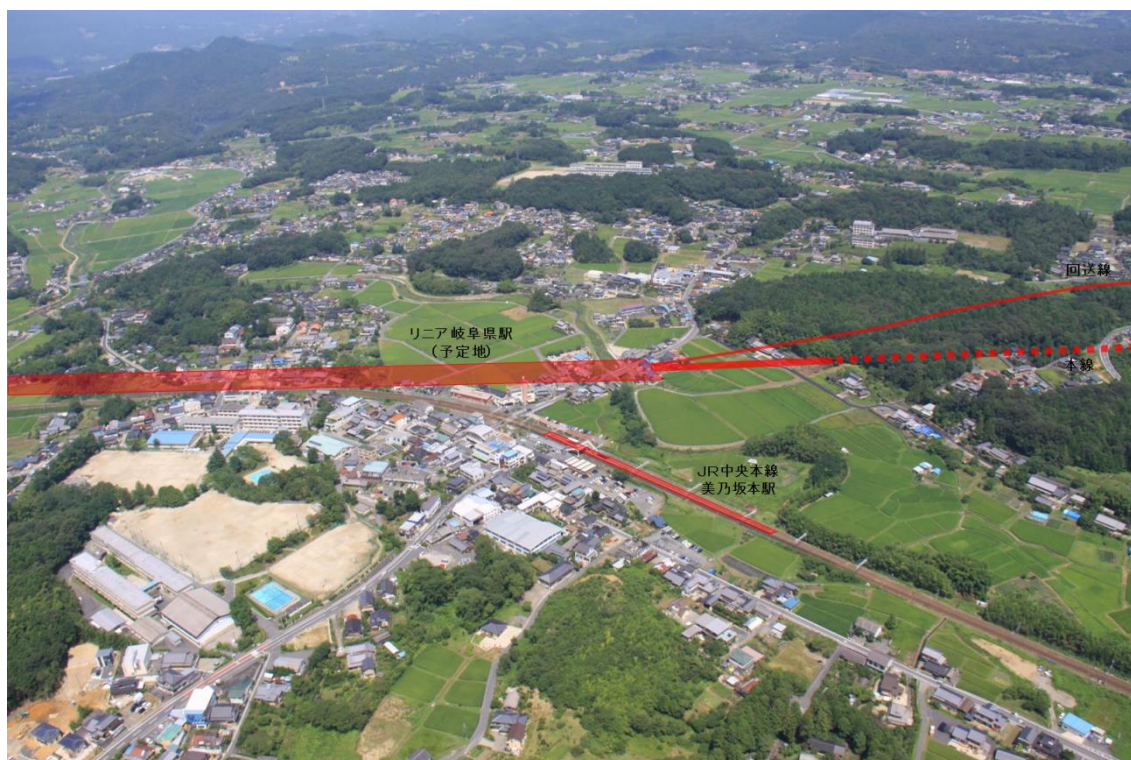
今回まとめた概略設計は、基本計画をもとに、駅に求められる機能や役割について具体化し、平面図、イメージ図及び概算費用を示したものです。

今後、各事業主体が、広く意見を聞きながら、さらに具体的な整備に向けた取組みを進めることとなりますが、この概略設計は整備を進めるうえでの基本的な考え方となるものです。

2. リニア岐阜県駅について

リニア岐阜県駅は、中津川市千旦林地区の JR 中央本線美乃坂本駅に近接して設置されます。

東京都一名古屋市間には、神奈川、山梨、長野、岐阜の4県に中間駅が設置され、本県に設置される駅は、山梨及び長野と同じく、地上駅となる予定です。



3. 岐阜県リニア中央新幹線活用戦略(抜粋)

活用戦略は、リニア開業効果の波及が期待される「観光振興・まちづくり」、「産業振興」及び「基盤整備」の3分野において地域づくりの方向性を検討し、それぞれ、活用戦略とそれを実現するために重点的に展開する施策をまとめたものです。

基盤整備戦略については、以下の4つの重点施策を掲げています。

このうち「駅及び駅周辺整備」については、「リニア岐阜県駅周辺整備協議会」を設置して、具体的な検討を進めてきました。

■ 基盤整備戦略

1 駅及び駅周辺整備

- 駅を岐阜県独自の魅力を発信するランドマークとして整備
- 乗換えの機能を重視した駅・駅前広場の整備
(美乃坂本駅との連絡施設、美乃坂本駅の改修など)
- 駐車場を必要数確保
- レンタカー施設、バス、タクシーの乗換えスペースの整備
- 観光案内所、物産販売店、飲食店の整備
- 「清流の国ぎふ」が感じられる空間を整備 など

2 アクセス道路整備

- 2027年度の名古屋開業を見据えリニア岐阜県駅から県内全域への道路アクセスを強化
- 南北アクセス軸を形成するため濃飛横断自動車道を新たに建設
- 東西アクセス強化のため、一般国道19号瑞浪恵那道路を整備
- その他優先度を勘案しながら駅のアクセス圏域拡大のための道路を計画 など



3 県内鉄道交通ネットワーク強化

- リニア岐阜県駅への停車本数の確保、速達型列車の停車についての働きかけの実施
- 岐阜駅—美乃坂本駅間の直通列車の運行、特急「しなの」の美乃坂本駅停車など、在来線の輸送力強化についての働きかけの実施
- 駅のバリアフリー化 など



4 リニア岐阜県駅からのバスネットワーク整備

- リニア岐阜県駅を、県内や長野県の観光地への長距離観光バス拠点として整備
- 観光目的と生活目的を分離したバス乗降場を整備
- リニア開業に伴う路線バスネットワークなどの検討 など



4. リニア岐阜県駅周辺整備基本計画(抜粋)

基本計画は、リニア岐阜県駅の駅前広場をはじめとする駅周辺施設等の整備に係る全体像や必要とされる個別機能を整理し、各施設における具体的な整備計画の基となるものとして、まとめたものです。

基本方針

1 岐阜県の東の玄関口としての駅・「清流の国ぎふ」を感じさせる駅

- 県内及び隣接県の主要都市や観光地への広域アクセス拠点として整備します
- 県外からの訪問者に「清流の国ぎふ」という岐阜県のイメージをアピールします
- 県産素材を活用するなど、岐阜県独自の魅力を発信するランドマークとして整備します
- 駅からの眺望を重視し恵那山などの自然景観と融合した駅前広場や親水性のある空間を整備します

2 コンパクトかつ交通結節機能を重視した駅

- コンパクトな空間に必要な機能を備えた、利用しやすい駅・駅前広場とします
- 観光客などの駅利用者が円滑に乗換えができるよう、交通結節機能を重視した整備を行います
- 段階的な整備が可能な施設については、リニアの建設段階や開業後の状況を見ながら、ニーズに対応した整備を行います

3 利便性に優れた駅

- 二次交通(鉄道・バス・タクシー・レンタカー等)と円滑に乗換えができる駅前広場とします
- リニア駅と在来線美乃坂本駅を結ぶ連絡施設を設置します
- 公共交通と私的交通の交錯回避、来訪者の利便性向上のため、各駅前広場で交通機能を分担します
- 自動車、歩行者の動線を考慮し、リニア利用者や地域住民が利用しやすい駅とします

4 にぎわいのある駅

- 来訪者の求める情報やサービスが十分に提供されるとともに、岐阜県をPRできる駅にします
- 地元の特産品や工芸品などの土産物を買うことができる施設を整備します
- リニア利用者だけでなく、在来線利用者などの地域住民も集う交流拠点の整備を検討します

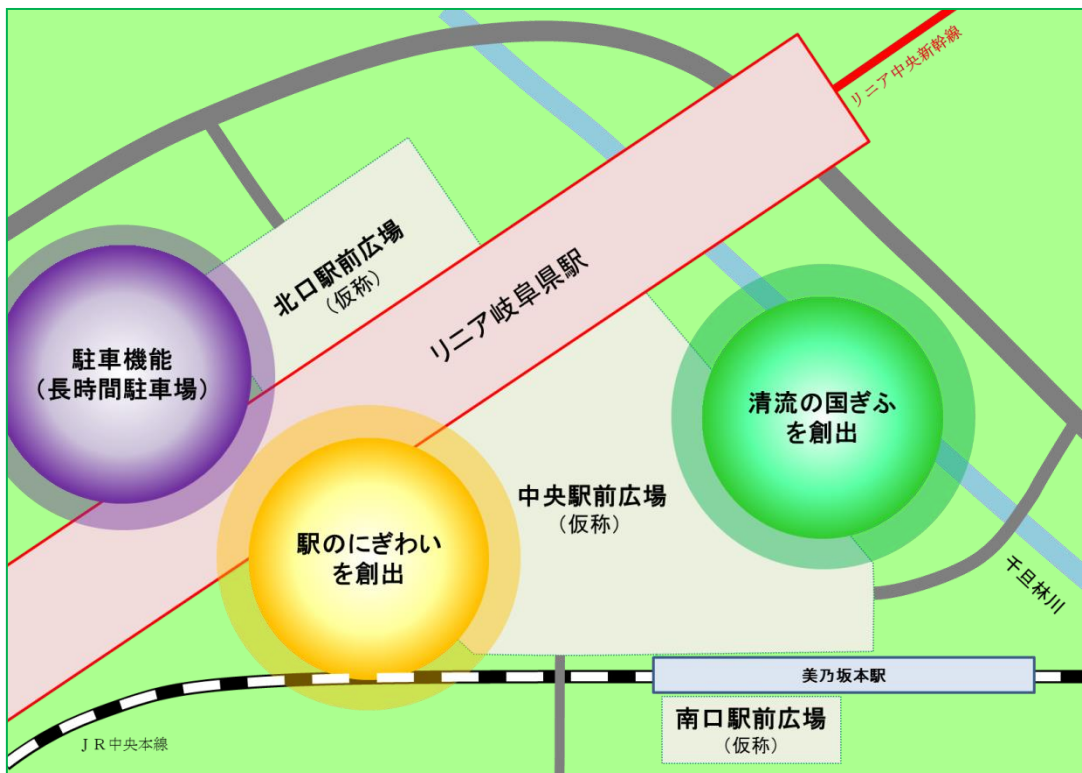
駅前広場に配置する機能(施設)

基本方針に沿って、駅前広場に配置する機能(施設)を以下のとおり計画しました。



駅前広場周辺に配置する機能

基本方針の「清流の国ぎふ」を感じさせる駅とするために、千旦林川付近に親水性のある空間を整備し、「にぎわいのある駅」とするために、リニア駅舎と隣接して、にぎわいを創出する機能(施設)を配置する計画としました。



5. 各施設の整備の考え方

基本計画にもとづき、具体的なレイアウトを行うにあたり、各施設の整備に関する考え方を以下のとおり整理しました。

① 公共交通を優先した中央駅前広場

- 二次交通(鉄道、バス、タクシー等)への乗換利便性を重視したレイアウト
- 在来線用の自家用車乗降場の設置による公共交通と私的交通の分離

② 私的交通を重視した北口駅前広場

- 一般車等の小型自動車に限定することによるコンパクトなレイアウト
- 短時間停車がしやすい乗降場の縦列配置

③ 乗換利便性と快適性を両立する連絡施設

- リニア岐阜県駅と美乃坂本駅の出来る限り短い距離での接続
- 連絡施設から恵那山の眺望を楽しめる配置

④ 清流の国ぎふを感じられる親水公園

- 千旦林川沿いを回遊できる親水性のある空間の創出
- 駅利用者や地域住民の休憩施設及び多目的広場としての空間の確保

⑤ 乗換利便性に配慮したレンタカー乗降場(高架下)

- 天候の影響が小さい高架下への乗降場の配置
- 乗換利便性に配慮した駅近接位置への配置

⑥ 各施設にアクセス良好な短時間駐車場

- リニア岐阜県駅及びにぎわい創出施設に隣接した配置
- 北口駅前広場での送迎時間帯の渋滞を緩和するバッファの確保

⑦ 利便性に配慮した美乃坂本駅橋上駅舎、南北自由通路

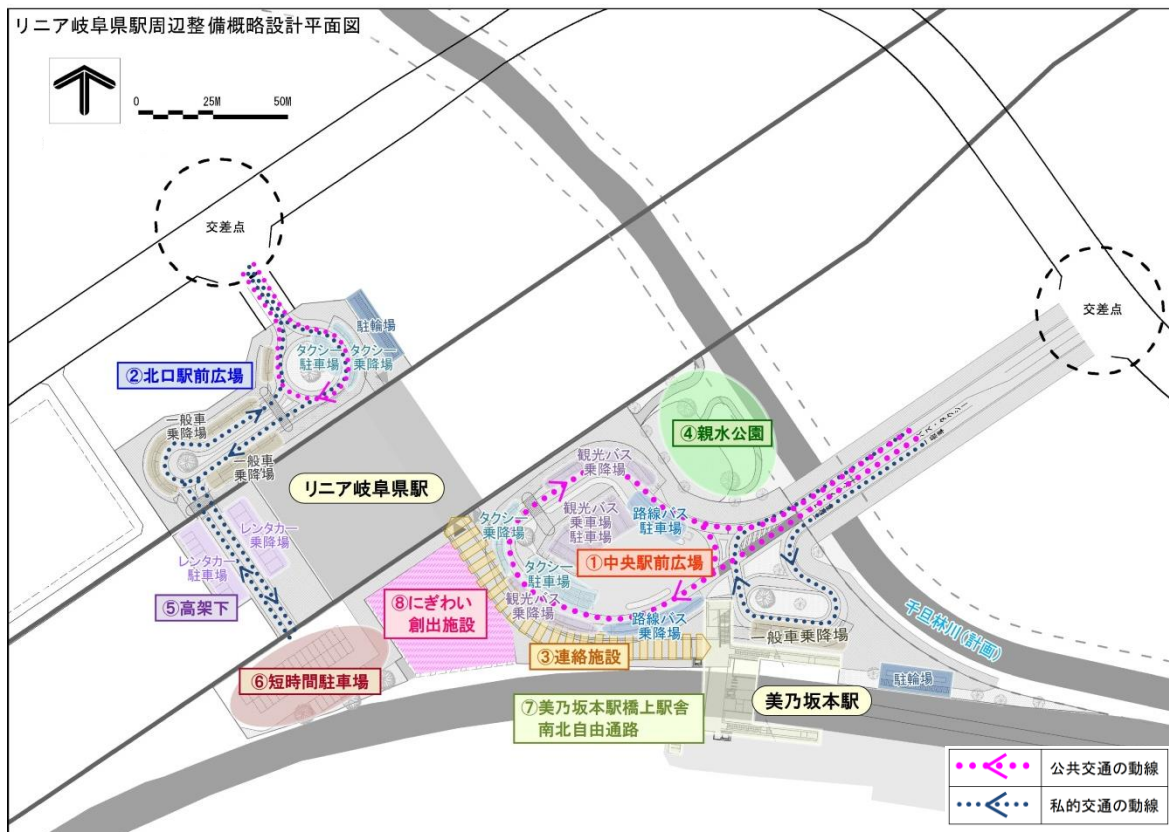
- リニア岐阜県駅との円滑な接続とバリアフリーに配慮した駅舎の橋上化
- 美乃坂本駅の南北両側へ出入口を設置した自由通路の整備

⑧ 来訪者と地域住民が利用するにぎわい創出施設

- 来訪者の求める情報やサービスが十分に提供され、岐阜県をPRできる施設の整備
- 地元の特産品や工芸品などの土産物を買うことができる施設の整備
- リニア利用者だけでなく、在来線利用者などの地域住民も集う交流拠点の整備

※にぎわい創出施設をはじめ、各施設も含めた整備や管理・運営については、今後民間活力の導入も含めた可能性を検討していきます。

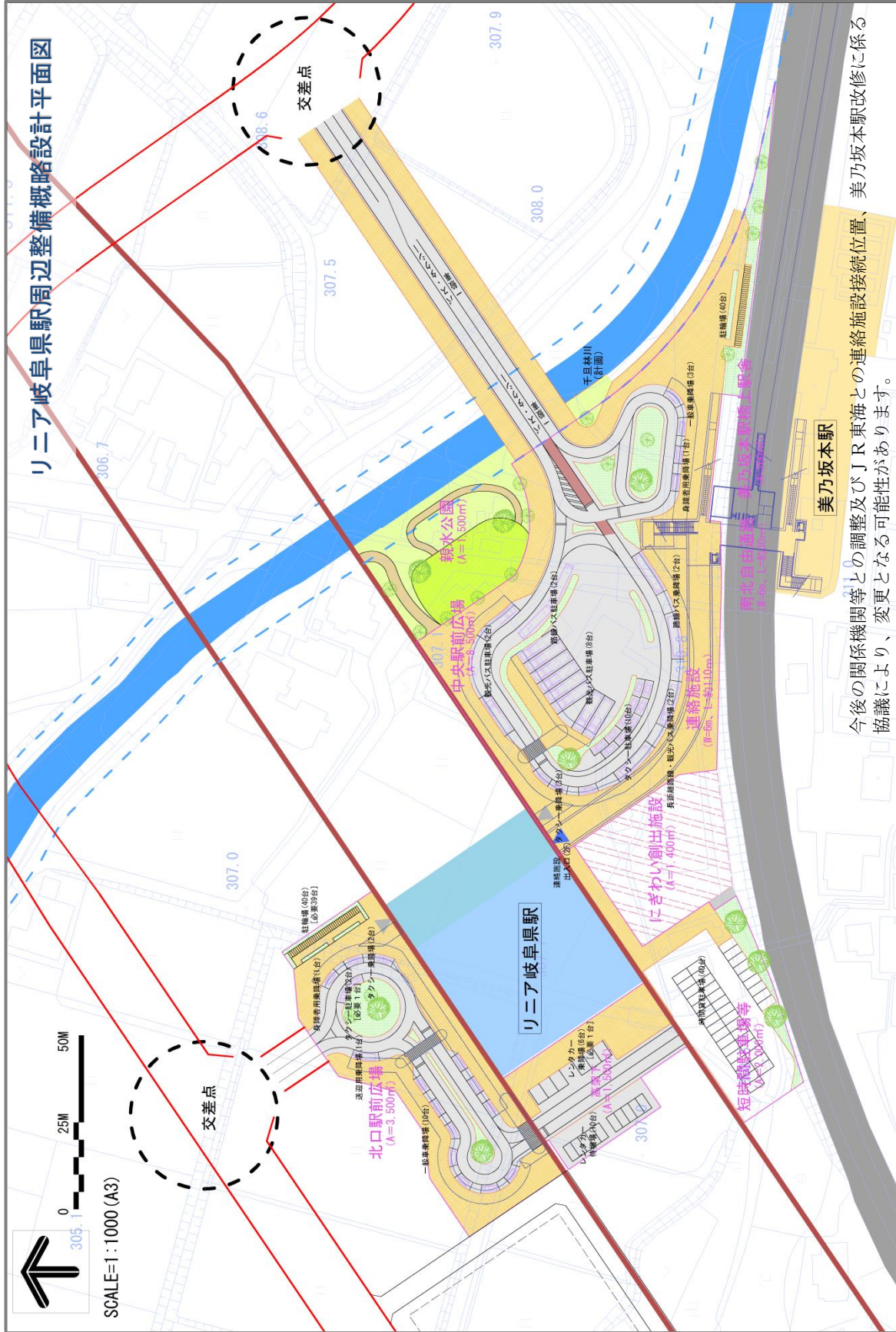
整備に関する考え方を反映したレイアウト



各施設の諸元

施設	施設規模	台数
①中央駅前広場	面積: 約 8,500 m ²	路線バス乗降場 2台
		観光バス乗降場 2台
		路線バス駐車場 2台
		観光バス駐車場 10台
		タクシー乗降場 3台
		タクシー駐車場 10台
		一般車乗降場 4台
駐輪場 40台		
②北口駅前広場	面積: 約 3,500 m ²	タクシー乗降場 2台
		タクシー駐車場 2台
		一般車乗降場 12台
		駐輪場 40台
③連絡施設	幅:6m 長さ:約 110m	—
④親水公園	面積: 約 1,500 m ²	—
⑤高架下	面積: 約 1,500 m ²	レンタカー乗降場 6台
		レンタカー待機場 10台
⑥短時間駐車場等	面積: 約 2,000 m ²	一般車駐車場 40台
⑦美乃坂本駅橋上駅舎 南北自由通路	橋上駅舎-面積: 約 200 m ²	—
	自由通路-幅:6m 長さ: 約 30m	
⑧にぎわい創出施設	※今後検討	—

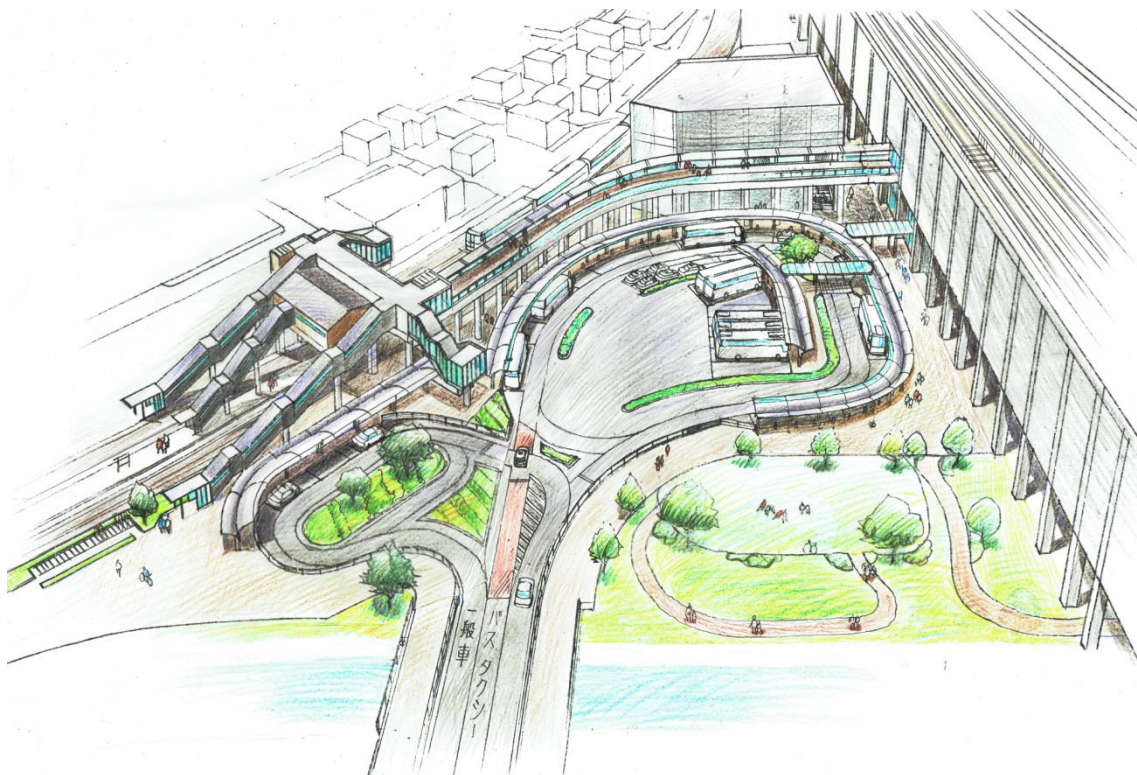
6. 平面図



今後の関係機関等との調整及びJR東海との連絡施設接続位置、美乃坂本駅改修に係る協議により、変更となる可能性があります。

7. イメージ図

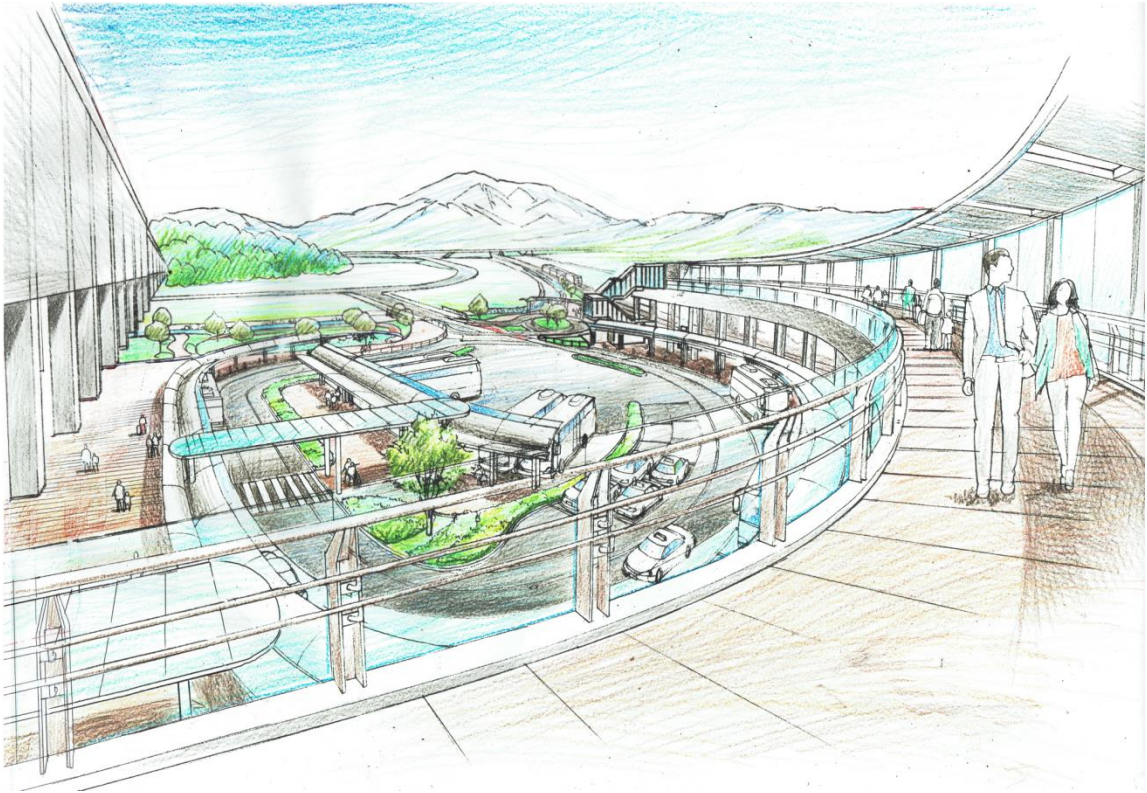
(中央駅前広場の全体イメージ図)



(リニア岐阜県駅方面からの部分イメージ図)



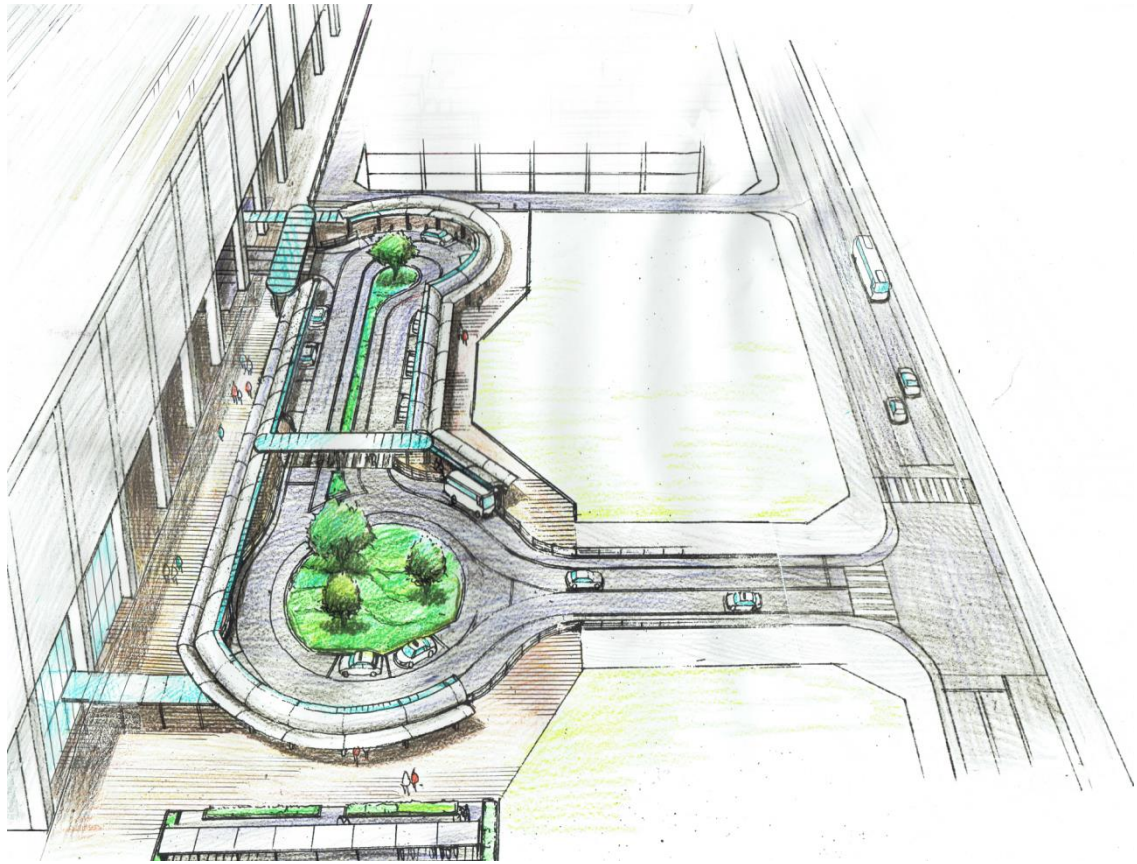
(連絡通路からの部分イメージ図-1)



(連絡通路からの部分イメージ図-2)



(北口駅前広場の全体イメージ図)



※上記の各イメージについては、今後の関係機関等との調整及びJR東海との連絡施設接続位置、美乃坂本駅改修に係る協議により、変更となる可能性があります。

8. 概算費用

駅周辺整備に要する概算費用については以下のとおりです。

対象施設	施設規模	概算費用
中央駅前広場	A=約 8,500m ² (舗装、縁石、植栽、排水施設、電気設備、通路シェルター、ベンチ等)	5.5 億円
北口駅前広場	A=約 3,500m ² (舗装、縁石、植栽、排水施設、電気設備、通路シェルター、ベンチ等)	3.2 億円
連絡施設	W=6m、L=約 110m (デッキ構造、半幅員程度の屋根付き)	6.0 億円
親水公園	A=約 1,500m ² (園路、芝生広場、親水護岸、植栽、護岸施設等)	0.3 億円
高架下	A=約 1,500m ² (舗装、縁石、排水施設、電気設備等)	0.3 億円
短時間駐車場	A=約 2,000m ² (舗装、縁石、植栽、排水施設、電気設備、ベンチ等)	0.4 億円
美乃坂本駅橋上駅舎 南北自由通路	橋上駅舎：A=約 200m ² 自由通路：W=6m、L=約 30m (室内型自由通路、EV、階段、自転車用斜路設置)	20.0 億円
計		35.7 億円

にぎわい創出施設については、約 1,400 m²の敷地に 4 階建ての施設を整備することを想定すると、概算費用は約 25 億円となりますが、具体的な整備内容等は今後検討します。

- ・土地区画整理事業により行う造成及びアクセス道路整備、並びに河川改修及びリニア岐阜県駅舎に関する費用は含まれていません。
- ・今後の関係機関等との調整及び JR 東海との連絡施設接続位置、美乃坂本駅改修に係る協議により、変更となる可能性があります。

9. 今後の進め方

今後は、関係機関において、事業主体や費用負担について協議が行われることとなります。また、各施設の整備主体を決定したうえで、各事業主体により、広く意見を聞きながら、予備設計、詳細設計を進めていくこととなります。

平成28年3月

岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会

基盤整備部会

〔事務局〕 〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1 岐阜県 都市建築部 都市公園整備局 公共交通課	TEL 058-272-1111(内線 2734) FAX 058-278-2765 E-MAIL c11134@pref.gifu.lg.jp
--	--